

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	関西支部	(2) 記載者氏名:	重廣恒夫	会員番号:	7931	事務局整理記入欄	関西-29
分水嶺区分	W280波佐利山～P1200(W281の手前)	(3) 山行日:	2004年	10月	17日	(4) 天候	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

松波幹夫	12791						
山内幸子	10380						
重廣恒夫	7931						
重廣元子	非会員						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	波佐利山から県境稜線に戻り、稜線を忠実に三室山に向かう												
アプローチ:	宝塚から中国自動車道に入り、山崎ICを降りて国道29号線を北上、新戸倉トンネルを抜けて旧道に入りトンネル前に駐車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	波佐利山												
分水嶺到達点W280	波佐利山	岩屋堂	134	29	23.40	35	15	41.50	1190		6:00		
	波佐利山分岐	岩屋堂	134	29	23.78	35	15	39.96	1181	6:25	6:25	B-3	
	P1135屈曲点	岩屋堂	134	29	11.26	35	15	46.05	1120	6:42	6:45	B-3	
	C1047	岩屋堂	134	28	56.91	35	15	21.91	1077	7:28	7:35	B-3	
	C1047南屈曲点	岩屋堂	134	28	55.34	35	15	14.35	1082	8:17	8:25	B-3	
	P1202	西河内	134	28	37.25	35	14	57.20	1201	9:05	9:10	B-3	
	P1202西屈曲点	西河内	134	28	19.15	35	14	56.72	1089	9:55	10:05	B-3	9-①
	分水嶺北の沢芯	西河内	134	27	52.90	35	14	43.52	1108	11:57	12:20	B-3	9-②
分水嶺離別点	P1200	西河内	134	27	44.00	35	14	30.00	1197	13:38	13:50	B-2	
歩行終了点	中原停留所	岩屋堂	134	26	45.29	35	17	32.91	336	17:00			
総歩行時間(休憩時間を除く):												8時間13分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

①ピーク手前兵庫県側に30m下ると水流あり。
②波佐利山分岐からしばらくは藪も薄いですが、すぐに背丈を越す笹藪となる。P1202から500m程西進した屈曲点からは物凄い藪となり、右へ右へと追いやられてしまう。最後は直進ができず鳥取県側に少し下り、小さな沢芯をP1200(赤西ピーク)北側の屈曲点までつめて県境稜線に戻ることができた。両県側とも、傾斜の緩やかな斜面を少し下れば取水が可能。

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 1200m峰西尾根の途中から三室山を望む

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



1200m峰西尾根の途中から三室山を望む